

職場の教養

6

2023 JUNE

一般社団法人 倫理研究所



職場の教養

6月号

2023(令和5)年6月1日発行
(毎月1回1日発行)
第43巻のup 通巻417号

編集人 三浦貴史
発行人 和田毅

一般社団法人 倫理研究所
<https://www.rinri-jpn.or.jp>

本誌は非売品で、倫理研究所の法人会員に毎月無料で贈呈しています。入会のお申し込みやお問い合わせは、倫理法人会事務局へどうぞ。

第18回 しきなみ子供短歌コンクール

寄せられた短歌、60,403首。入賞作品が決定

倫理研究所は、日本の文化を次の世代につなげるため、子供たちの短歌作りを応援しています。

「第18回 しきなみ子供短歌コンクール」の作品募集に、全国各地の60,403名(1,173校)の小学生から短歌が寄せられました。厳正なる選考の結果、「しきなみ子供短歌賞」「文部科学大臣賞」3名、「特選」20名、「入選」355名、「佳作」555名が決定し、今年2月19日に表彰式を開催しました。

しきなみ子供短歌賞 文部科学大臣賞

※学年は応募当時のものです

〔低学年の部〕
埼玉県 久喜市立三箇小学校 二年 中野紗月さん

わたいの音が心ぞう通りすぎ
おなかの中でくわくわくして

〔中学年の部〕
千葉県 鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷小学校 三年 高畑旬佑さん

えだまめのひとつぶ入りはさみしろう
ひとりくらしのじじをおもひ

〔高学年の部〕
神奈川県 横浜市立北方小学校六年 富井太一さん

じゃあまたねいともと違うなみなりを
胸にしまった小六の夏

胸にしまった小六の夏

【主催】一般社団法人 倫理研究所 【後援】 文部科学省、全国民間放送ラジオ局37社

所属

氏名

国際連合は、日本とアフリカのセネガルの共同提案を受けて、六月五日を「世界環境デー」に定めています。

これは一九七二年六月五日から開催された「国連人間環境会議」を記念して、その後、日本では六月を「環境月間」と決めました。

人類の発展と共に、地球の環境はバランスを失い、気候変動などにより生態系が乱れ、様々な生物が地球上から姿を消しつつあります。

国際自然保護連合の二〇二一年の発表によると、四万種以上の生物が絶滅危惧種とされ、二十年あまりの間に四倍近く増加したことになります。昨今は有史以来最速のスピードで絶滅が進行しているのです。

多くの生物の中で、人間だけが、自らの意思で地球環境を良くも悪くも変えることができる存在です。

そうした自覚を持って、ゴミの削減、電気や水といった資源の節減など、環境保全のためにできることから始めましょう。

今日の心がけ◆環境保全に努めましょう

Kさんには、生きる上で大切なことをありのままに話し合える友人がいます。

友人と会うのは二カ月に一度ほどですが、お互いの思いを述べ合うことで、自己の心や考えが整理され、気持ちの前向きになります。

生き甲斐や生きる基軸を持つ大切さなどについての友人の考えにはいつも刺激されます。またKさん自身、出来事をありのままに語ることで、生きているという手応えを感じられます。

ある日、人生と理想について話している時でした。友人は、理想がなければ人間は色あせる、さらには、理想の実現に向けて行動しなければ生気を失うと語り、理想的な人間像がなくては人間は生きられないのではないかと語りました。

その時、友人は、お互いに理想とする人物を見つけ出し、尊敬し、憧れることから始めようと提案してくれたのでした。

Kさんは、理想は人々を照らす光のような人になることだとの思いが湧いてきて、人のために尽くし明るくしめる心でいようと、決意を新たにしました。

今日の心がけ◆理想像を持ちましょう

日本再発見! -郷土玩具(西日本編)-

ごぼうにんぎょう
御坊人形
(和歌山県御坊市)

和歌山県御坊市の郷土玩具で、天神様や依持ち、三番叟(さんばそう)など様々な形があり、子供の節句に贈られる。御坊人形には張子と、桐の粉を砂や貝殻など練り合わせ型に入れて造形する「練物」の2種類がある。その始まりは明治時

代と言われ、もともとは大阪張子の技法を取り入れて張子人形を製作していたが、後に練物も始めたという。練物は小型、張子は大型の作品に適しているとされる。現在は生産量も少なく、入手も困難になっている。



今日の心がけ◆梅雨を楽しみましょう

種以上あるといわれています。

連日降りつづく雨を「宿雨」、日照り続きの時に降る恵みの雨を「慈雨」、草木の青葉に降る雨を「翠雨」、晩秋に降るにわか雨を「秋時雨」と呼ぶように、状況や季節に応じた呼称は、日本人の豊かな感性が窺えます。

雨の魅力を再発見し、梅雨の日々も晴れやかな心で過ごしたいものです。

今日の心がけ◆業務の目的を明確にしましょう

会社の業務には必ず目的や理由があります。それを意識しているかないかで、業務に取り組む姿勢が大きく変わってきます。

日々の細々とした業務であっても、その目指すところは経営理念の実現につながるはず。経営理念は、その会社がなぜ存在しているのか、何を目的に活動しているのか、などの方針を示すものだからです。

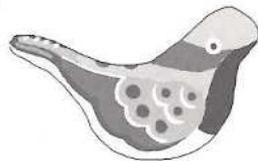
ただし、経営理念は会社全体の方向性に関わるもので、日々の業務と直接的なつながりは感じにくいかもしれません。そこで日常業務ではそのつど、「なぜ、何を目的にそれを行なうのか」など、具体性を持たせることが大切です。

特に、上司として部下に仕事を指示する場合は、その目的や理由をていねいに説明し、理解してもらおうことが大切です。逆に業務実行者は、業務の目的が不明瞭な場合はリーダーに説明を求められるべきなのです。

もし業務の目的を誰もはっきりと説明できない場合は、その業務が本当に必要なか精査するべきでしょう。

張り子といえば、木型の外側に紙を貼って成形するが、宮島張り子は石膏型の内側に紙を貼り付ける方法をとっている。そのため、通常の張り子と違い、なめらかで美しいシルエットが出来上がる。また、独特な装飾文様と、ビビットな組み

合わせの色調も特徴だ。そのモチーフには、瀬戸内の温暖な風土の中で暮らす鳥が多い。実は、宮島張り子の職人は現在田中司郎氏ただ1人。その日どんな作品が並ぶのかは、田中氏次第で決まるという。



日本再発見! -郷土玩具(西日本編)-

みやじまは こ
宮島張り子
(広島県廿日市)

「赤ちゃんは泣くのが仕事」と、昔からよくいわれています。確かに、赤ちゃんは母親のお腹から生まれた瞬間から泣いています。赤ちゃんの母親は、お産の苦しみを乗り越え、耳に入ってきた赤ちゃんの産声を聞いてうれしい気持ちになります。ネイティブアメリカンの教えにも次のような言葉があります。

「あなたが生まれた時あなたは泣いていて、周りの人たちは笑っていたでしょう。あなたが死ぬときあなたが笑って、周りの人が泣くような人生を送りなさい」

このような言葉は、人生の意味や目的について深く考えるきっかけを与えてくれます。自分が望むような人生を送り、かつ他者を喜ばせることができたらどれほどすばらしいことでしょうか。

仕事においても、向上心を持ち、努力を続けることが自分の成長につながります。そして、その成長が会社に貢献し、結果として周囲を喜ばせることにつながるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆貢献する気持ちを持ちましょう

「朝を制する者は一日を制す」といわれます。

朝の目覚めをよくするには、寝る前は空腹に近い状態であることが望ましいとされます。そのほかにも、湯船につかって身体をよく温める、適切な睡眠時間を確保するなど、前夜の過ごし方から考えていく必要があります。

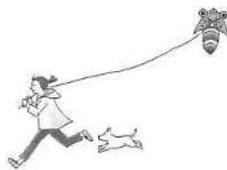
作家の中谷彰宏氏は著書の中で、目覚まし時計を十分早めるだけで、毎日の生活にどれだけの変化が起こるかにについて述べています。また、十分で実行に移せる具体的な朝の習慣について紹介しています。

「朝起きたら、太陽の光を浴びる」「パジャマを早めに脱いで着替える」「鏡を見て、とびきりの笑顔を作る」「大事な人には朝に会う」「朝の挨拶は、チャンスをつかむつもりで行なう」など、五十項目にも及びます。

スムーズに朝起きられるようになりたい、会社で仕事の成果を上げたい、マンネリ気分を変えたいなど、現状打破を考えている人は、まず、朝の過ごし方を変えることから始めてみるのもいいでしょう。

今日の心がけ◆朝の過ごし方を工夫しましょう

が風づくりを復活させ、祖父の名をとって「孫次風」と名付けた。どんな形、大きさにも対応できるよう、義博氏のアトリエには様々な長さや太さの竹ひごがストックされているという。



セミヤカッパなどをデザインに取り入れたユニークで色鮮やかな風は、「とにかくよく飛ぶ」ことで評判だ。古くから風揚げが盛んな北九州市で、明治末期に米屋だった竹内孫次氏が自分用の風として作ったのが始まり。その孫の竹内義博氏

日本再発見! -郷土玩具(西日本編)-

孫次風
(福岡県北九州市)

今日の心がけ◆生命とのかかわりに感謝しましょう

世界で最も人間の命を奪っている生物は蚊だといえます。その蚊を駆除しなければ、日本脳炎などの感染症から私たちの命を守ることはできません。殺虫剤を開発しているある大手製薬会社では、実験対象となった虫たちを供養するために、年に一度、「虫供養」を行なっています。

その式典は、虫たちの遺影の前に、寺院で行なわれます。製薬会社に所属する研究者の中には、「業務で必要なことをしているだけなのに、なぜ供養するか」と感じる人もいます。

しかし、式典に参加する中で、「自分たちはこの虫たちのおかげで研究ができ、人々の役にも立てている」と、命への感謝が芽生えるのだそうです。日々、研究対象として接してきた虫たちの、「供養」を経験することで、命や仕事に対する心の持ちようが変わっていったのでしよう。

人間の生命を守るためには、虫にまつわる問題を解決しなければならぬもの事実です。あらゆる生命とのかかわりを見つめ直したいものです。

日本再発見!-郷土玩具(西日本編)-

福獅子 (大分県別府市)

「獅子」と聞いて想像するのは、猛々しいライオンのたてがみや鋭い牙だろう。しかし別府の郷土玩具「福獅子」は、ゆるキャラのような表情を浮かべてちょこんと座る四角い置物。大きさは手のひらサイズと、何とも可愛らしい。紅白2

「もつとこうすればよかった」(なぜあんなことを言ってしまったのか)など、ネガティブな考えを繰り返してしまふことを反芻思考といえます。

反芻思考に陥りやすい人の特徴に、「自分の行動に間違いがあつてはならない」といった完璧主義や、「自分の言動で相手が傷ついてしまったのでは」など、周囲に気を使いすぎる傾向がみられるようです。

反芻思考に陥った時は、体を動かしたり、自然の中で過ごしたりすると、堂々巡りの思考から抜け出せると言われています。

また、「間違つてもやり直せばいい」(そんなに人は弱くない)など、考え方の癖を変えてみるのも有効です。相手の気持ちや結果を変えることはできませんが、自分の受け止め方は変えることができるのです。

過ぎてしまった出来事に善悪の判断を加えず、ありのままに受け止める心を養い、自分が気づいていない思考の癖を見つめ直し、より心が明るくなる考え方を習慣化したいものです。

今日の心がけ◆明るく考える習慣をつけましょう

匹で一對となり、7つの災いを取り払い、7つの福を運んでくれるという。見た目からは想像できないような抜群の縁起物だ。昔の「福獅子」は木彫りだったが、土人形作家の宮脇弘至氏が現代風にアレンジした。

